

# 目次

- ① 基本情報
- ② 滞在先
- ③ クラスの規模
- ④ 授業の進め方
- ⑤ 他の参加者
- ⑥ イベント
- ⑦ 感想
- ⑧ アドバイス

# 基本情報

2022年夏、Session 2 に現地で参加 (7/18 - 8/12)

- 参加費: 国内協議会助成 + 大学の助成
- 実費負担: 家賃、生活費
- 履修したレクチャー: *Introductory/Review Lectures on Matrix Algebra* (行列入門)、*Introduction to the R Statistical Computing Environment* (R 入門)
- 履修したワークショップ: *Panel Data and Longitudinal Analysis* (パネルデータ・時系列分析)、*Regression Analysis II: Linear Models* (回帰分析 II: 線形回帰モデル)

# 滞在先

- Inter-Cooperative Council (ICC) の Osterweil という家
- 家賃: USD 873.00 + 手数料  
当時 127,152 円 ( !!! )
- 食材費込み
- エアコンなし (部屋によってはあるらしい?)
- 共同キッチンと冷蔵庫にある程度食材あり。ただし、学生ハウスなのでカビている
- 自分で食材を買ったレシートを見せれば、その分の払い戻しを受けられるというので、常備の食材は使用せず、自分でスーパーから調達



Figure 1: 滞在した Osterweil

# クラスの規模

- 授業によって異なる
- レクチャー: 行列入門、R 入門ともに 15 人ほど
- ワークショップ: パネルデータは 15 人ほど、OLS は 5 人ほど

# レクチャーの進め方

- 時期: 最初の2週間
- 長さ: 1時間 (行列入門)、2時間 (R 入門)
- 課題: なし

先生が前で実演、話を聞く。

# ワークショップの進め方

- 時期: 4週間ずっと
- 長さ: 2時間
- 課題: 毎週末あり

課題はなかなか多い。ワークショップを2つ履修していると、課題の提出を最後まで続けるのは難しいかも？

課題を最後まで出すと修了証がもらえる。いちおう、出さなくてもペナルティはない。

もし課題や授業で困ったら、TAがすごく親切に助けてくれる。  
TAは、アメリカの大学院の博士課程の学生

## 誰が参加したか？

- 参加者: ほとんどは博士課程の院生
- どの institution から?: アメリカの大学やヨーロッパの大学が多かった
- 国籍: アメリカの大学院生は多国籍; ヨーロッパからはドイツ人が多かった



# 公式イベント

- セッションの初日（オリエンテーション日）：Welcome Party
  - オリエンテーション後にサンドイッチが配られて、立ち話をする
- 毎週水曜日の朝：Coffee and Donuts
  - ドーナツ食べ放題（ふつう遠慮して大量には食べない）
- 第1、3週の水曜日：Picnic
  - ケータリングが出て pulled pork が食べ放題（余ると持って帰れる）



Figure 5: ドーナツが配られる部屋

# 非公式イベント

- Organize してくれる学生がいると、頻繁にご飯や飲みに行けるかもしれない

# 感想

- アメリカの大学院教育を五感を通じて経験
- 勇気を出して他の受講生に話しかけたことで、世界各地から集まった学生と交流する機会に
- 受講生のほとんどは博士課程に在籍しているかすでに博士号を持っていたため、修士課程にしながら先のレベルを肌で感じられた
- 研究の大きなモチベーションに！

# 参加者へのアドバイス

- 授業はとにかく難しい（当然私の統計スキルが低すぎたという問題がありますが……）
  - シラバスを見て受ける印象よりもずっと難しい
  - 平日は毎日授業があり、進みが速いことも一因か
  - 課題を最後までやり抜きたいなら、授業はしぼった方がよいかもしれない